

目 次

ま え が き

I 研究の経緯

1 昨年度までの研究から	1
2 今年度の研究	4

II 研究の内容

1 個の特性や興味・関心とクラスの保育	5
(1) 気になる子（やよい）の興味をもったことからクラスの保育の構想へ	5
(2) 気になる子（ひとし）のために構想した教材がクラスの友達に広がって	14
2 気になる子（かずみ）の生き生きとした姿を支える園全体でのチーム保育 ..	20
3 一人一人が心を動かす環境と保育の在り方	29
4 一人一人への援助と保育の形態	39
5 小学校への接続に向けての取り組み	46

III 研究の成果と課題	61
--------------------	----

資 料 編

○実践事例集 様々なニーズに応じた援助の在り方	63
○平成20年度保育を語る会の記録	94
○「発達障害」の用語の使用について	99

あ と が き	106
---------------	-----

平成20年度研究活動報告	107
--------------------	-----